

携帯電話について考えよう

(1) 本時のねらい

- ・携帯電話には良い面と悪い面があることを理解し、携帯電話の被害者にならないためにはどうしたらいいのかを考えることを通して、自分をコントロールする力を身につける。
- ・話し合い活動の中で自分以外の様々な考えに触れることを通して規範意識を高める。
- ・自分の考えを発表したり相手の考えを聞いたりするというコミュニケーション活動を通し、人間関係を調整する力を高める。

(2) 展開（1時間扱い）

<事前指導> 携帯電話に関するアンケート実施（実態把握）

<本時>

時間	過程	学習活動 予想される生徒の反応	教師の役割		指導上の留意点
			T1（教師）	T2（少年補導員）	
10	導入	1 本時の学習のめあてを知り、本時の学習に対する意欲をもつ。 携帯電話の機能を考える。 携帯電話が関係した事件について知る。	少年補導員を紹介する。 携帯電話について考えていくことを伝える。 携帯電話の機能を黒板にまとめる。	自己紹介をする。 携帯電話が関係した事件を紹介する。	紹介は簡潔に行い、本時の学習に対する意欲付けに重点を置く。
25	展開	2 携帯電話の良い面と悪い面を考える	活動方法を説明する。		T1、T2は教室を回り、個々の活動やグループの活動を支援する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><発問1> 「携帯電話の良い面と悪い面を考えよう。」</p> <p><活動方法> 具体的な進め方は活動例2（後述）を参照 携帯電話の良い面と悪い面を、項目（「通話機能」「メール機能」「情報検索機能」「掲示板機能」「その他」）ごとに考える。 グループの中で考えを発表し合い、項目ごとにグループの意見としてまとめる。 グループの意見を発表する。</p> </div>					
		3 教師や少年補導員の話から、携帯電話による被害の実態を確認する。	発表の司会進行をする。 携帯電話による被害について教師の経験を基に話す。	発表された意見を黒板にまとめる。 携帯電話による被害について少年補導員の経験を基に話す。	話し合いに慣れていないようであれば、司会者用メモ2（後述）を活用する。 事件に関する話だけでなく、コミュニケーション不足の問題などにも触れると良い。
15	まとめ	4 携帯電話の正しい使い方考える。	活動方法を説明する。		T1、T2は教室を回り、個々の活動を支援する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><発問2> 「携帯電話の被害者にならず、正しく使うにはどうしたらいいでしょうか。」</p> <p><活動方法> 携帯電話を正しく使うための方法を考え、ワークシートに記入する。 自分の意見を発表する。</p> </div>					
		5 「自分をコントロールする力」を身に付けていこうとする意欲をもつ。 6 本時の感想を書く。	発表の司会進行をする。 自分をコントロールする力の大切さを話す。 生徒の感想を紹介する。	発表された意見を黒板にまとめる。 万引きを止める方法を経験を基に紹介する。	万引きを見かけた場合や万引きに誘われた場合にどうすべきかは発表の後に補助的に話す。

<事後指導> 授業の感想等を学級掲示するなどして生徒が様々な考えに触れることができる工夫をする。

活動例 2

< 発問 1 > 「携帯電話の良い面と悪い面を考えよう。」

< 活動方法 >

携帯電話の良い面と悪い面を、ワークシートの項目（「通話機能」「メール機能」「情報検索機能」「掲示板機能」「その他」）ごとにできるだけたくさん考え、自分の考えを付箋紙に書いてワークシートに貼る。

グループ用のワークシートはA3程度に拡大しておくが良い。

グループ（4人程度）になり、それぞれの考えを発表し合いながら、グループ用の用紙に付箋紙を貼り直してまとめる。

グループ用のワークシートに貼られた“良い面”と“悪い面”のうち、最も良い（悪い）と思えるものをグループ内で話し合いながらそれぞれ1つずつ選ぶ。

グループの意見を発表する。同じ意見が出たら挙手で示す。

注意事項

- ・グループでの話し合いを進めるには司会者が必要である。グループ活動に入る前に司会者を呼び、話し合いの進め方を説明する。話し合いに慣れていないようであれば、司会者に話し合いの進め方を示した「司会者用メモ」を渡しておくが良い。
- ・が早く終了したグループには、黒板貼付用の紙を渡し、グループの意見を書かせておくが良い。
- ・の活動は、話し合い活動を活性化させるのに良い。

司会者用メモ 2

～話し合いの進め方～

1 話し合いの手順を説明する。

（例）「今からグループの話し合いを始めます。話し合いは、まずそれぞれの項目ごとに付箋紙に書いた考えを発表してもらい、グループの意見としてまとめていきます。」

2 グループ内のそれぞれの人に、付箋紙に書いた考えを発表してもらう。

（例）「では、最初に“通話機能”の良い面を発表してください。くん（さん）お願いします。・・・次に“通話機能”の悪い面を発表してください。くん（さん）お願いします。・・・」発表が終わった付箋紙はグループ用のワークシートに貼り直す。

3 項目ごとに“最も良い面”と“最も悪い面”を選ぶ。

（例）「では、それぞれの項目ごとに“最も良い面”と“最も悪い面”を決めていきます。まず“通話機能”から考えていきます。通話機能で最も良い面はどれだと思いますか。・・・では、通話機能で最も悪い面はどれだと思いますか。・・・」

同じように「メール機能」「情報検索機能」「掲示板機能」「その他」それぞれの項目ごとに“最も良い面”と“最も悪い面”を決める。

“最も良い面”“最も悪い面”と思えるものに赤ペンで印をつける。

3までの活動が終わっても時間があったら、先生から紙をもらいそれぞれの項目ごとに選んだものを紙に書く。

携帯電話に関するアンケート

() 学年 男 女

1 中学生に携帯電話は必要だと思いますか。

必要である 必要ではない

<理由を教えてください>

2 携帯電話を使うときに気をつけなくてはいけないことにはどんなことがありますか。思いっただけ書いてください。

3 あなたは自分用の携帯電話をえていますか。

もっている もっていない

4 あなたは携帯電話をどんな目的で使っていますか。(次の項目のうち、使う機能に、特に多く使う機能にをつけてください)

ア 電話(通話) イ メール ウ ゲーム エ 音楽を聞く
オ インターネットで調べる カ その他()

3 携帯電話を使っていて「良かった」「役に立った」と思ったことはありますか。

ある

どんなことですか

ない

4 携帯電話を使っていて「嫌だった」「困った」と思ったことはありますか。

ある

どんなことですか

ない

5 新聞やニュースでは毎日のように携帯電話による事件や被害が報道されています。

携帯電話による事件や被害はなぜ起きるのだと思いますか。

携帯電話による事件や被害をなくしていくには、どうしたらいいと思いますか。(わからない場合は「わからない」と記入してください)

携帯電話について考えよう

氏名 _____

Q1

	良い面	悪い面
通話機能		
メール機能		
情報検索機能		
掲示板機能		
その他		

Q 2

	携帯電話の被害者・加害者にならないために (携帯電話の被害を防ぎ、携帯電話を正しく使うためにはどうしたらいいでしょうか。 それぞれの機能ごとに具体的な方法を考えてみましょう。)
通話機能	
メール機能	
情報検索機能	
掲示板機能	
その他	

授業を終えて

携帯電話について考えよう

氏名 _____

Q 1

	良い面	悪い面
通話機能		
メール機能		
情報検索機能		
掲示板機能		
その他		